

茨木市立幼稚園のあり方について

1 茨木市立幼稚園のあり方検討委員会審議結果

- ・ 8園（休園中1園を含む）の幼稚園を現状のまま運営することは適切ではなく、適正配置の観点から統廃合を行うことは避けられない
- ・ 沢池幼稚園と庄栄幼稚園の2園は公立として認定こども園化
- ・ 天王幼稚園、北幼稚園、北辰幼稚園、東雲幼稚園、郡幼稚園、玉島幼稚園の6園廃園はやむを得ない
天王幼稚園は、民間認定こども園とすることが妥当
その他の5園は、子ども・子育て支援など市の課題解消につながる活用を行うことが妥当

2 今後のスケジュール

令和3年4月	計画案のパブリックコメントの実施
5月	計画策定
6月	条例の改正（市議会）

〈参考〉各園のスケジュール案（第6回茨木市立幼稚園のあり方検討委員会資料より）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
沢池幼稚園	検討委員会	条例改正（6月市議会）	給食室整備工事（改修）	認定こども園（公立）				
天王幼稚園			事業者公募	廃園	園舎建替工事（認定こども園化に向けた整備）	認定こども園（私立）		
北幼稚園			4歳新入園児募集停止	廃園	課題に応じた活用			
北辰幼稚園（休園中）			廃園	課題に応じた活用				
東雲幼稚園			4歳新入園児募集停止	廃園	療育施設			
郡幼稚園			4歳新入園児募集停止	廃園	課題に応じた活用			
玉島幼稚園			4歳新入園児募集停止	廃園	課題に応じた活用			
庄栄幼稚園			認定こども園化に向けた整備（増築）		認定こども園（公立）			

3 その他

現在、幼稚園型認定こども園として5園を運営しています。この5園については、幼保連携型認定こども園には移行せず、幼稚園型認定こども園として継続します。

理由としては、教育・保育のベースとなる幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の3歳以上の幼児の部分の内容の整合が図られたこと、幼稚園型ではありますが保育を必要とする子どもの保育時間は、公立保育所と同じとしており差がないことからです。

注）幼保連携型認定こども園と幼稚園型認定こども園の違い

幼保連携型認定こども園は、学校と児童福祉施設の両方の位置づけを持つ施設です。幼稚園あるいは保育所から幼保連携型認定こども園に移行する場合は、それぞれの認可を廃止し、新たに幼保連携型認定こども園の認可を受ける必要があります。また、先生の資格が幼稚園教諭と保育士資格の併有が義務付けられる（令和6年度末までは経過措置あり）など基準が厳しくなります。

幼稚園型認定こども園は、幼稚園に保育所機能を付けた施設です。幼稚園認可を廃止する必要はなく、また、先生の資格も併有は求められますが努力義務となっているなど、幼保連携型認定こども園に比べ基準が緩やかになっています。